

機械、経営工学、総合技術監理部門
奥田技術士事務所 奥田 雄三

最近のG S G Gの仕事からの思い

はじめに

私が技術士事務所を開設したのは6年半前でした。

「中小企業からのご相談にお応えします」と名刺を作りスターとしましたが、1年間は企業からのご相談がないまま、かつて勤務した企業の社員研修講師業務と、経済産業省がスポンサーの東海ものづくり創生協議会アドバイザーとしてスポット的な中小企業指導をしました。

その後、アドバイス先の企業から経営全般にかかわる技術指導の依頼があり、企業体質改善の指導を継続しましたが、リーマンショックで継続的な企業の指導は難しくなりました。企業が指導費用を支払えない状態に陥ったためでした。

リーマンショック後も、企業は円高の影響で仕事が減少し、継続的な支援の依頼はなく、スポット的な相談も減少してきました。企業の社員研修講師業務と大学の非常勤講師業務が継続的な業務になり、ゴルフと畑仕事に精を出す始末になりました。

そろそろ潮時と思っていた昨年、G S G G (N P O 法人 技術サポートぎふ技術士の会) の荻須理事長からG S G Gの仕事を手伝うよう誘われ、会員になりました。昨年は「公園・学校・幼稚園などの遊具点検作業指導」、今年は「家庭ごみ減量化・環境にやさしい買い物講演」を手伝いました。

今回の会報には、今年行いました「家庭ごみの減量化・環境にやさしい買い物講演」に関して思ったことを纏めてみました。

・専門外のごみ問題の講演はできるか？

G S G G に対して岐阜県廃棄物対策課から、3市町へ出向いて市民に「家庭ごみ減量化、環境にやさしい買い物」の講演を行うよう依頼が来ました。荻須理事長から会員に対して講師役の引き受け要請がありました。

小生の技術士専門分野は「機械、経営工学、総合技術監理」です。ごみや環境というキーワードにつながらないため、当初は見送っていました。そのうち、3年前のエジプト旅行中に懇意になったごみの専門家(京都大学環境保全センター 浅利助教)に助けをもらえば何とかできると考え、講師役に手を挙げました。

1、2か月ぐらいかけて勉強し、これを纏めて専門家にチェックを受ければ、ある程度

[岐阜県技術士会会報の情報連絡先]

代表幹事 田島 暎久 〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F
TEL : 0583-79-0580 FAX : 0583-85-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp

のことはお話しできるだろうくらいの気持ちで応じましたが、これで良かったと思っています。専門外のことでもある程度のことではできるものです。

・講演原稿作りは大変でした

そこからが大変でした。いきなり浅利先生に原稿作成をお願いするわけにいかず、1時間程度の講演原稿作りを始めました。

サラリーマン時代に産業廃棄物の処理の研究に携わったことがあります、「家庭ごみ」となると知識がありません。「買い物」となると家内のアッシー君を務める程度です。まず知識を広めなければと考え、もっぱらインターネットを使って情報収集を行いました。

情報検索のキーワードは「家庭ごみ」「廃棄物」「減量化」「環境」です。全国の自治体、政府機関のホームページ、刊行物などにヒットします。ものすごい量の情報でしたが、手当たり次第に読み、これはと思う資料をダウンロードしました。その気になれば、短時間のうちにたくさんの情報を集めることができることを実感しました。

ストーリーはG S G Gメンバーの意見も参考に、「なぜ家庭ごみの減量化？」から始め、「事例紹介」で興味を集め、「豆知識」を紹介し、「日常生活のポイント」で締めくくりにしました。

依頼者の意向が読めないまま、「家庭ごみの減量化」を主眼に置いてパワーポイントを使い通りのストーリーを作り上げました。その後、依頼者である岐阜県の担当者と打ち合わせをしたところ、「環境にやさしい買い物」も強調してもらいたいとの注文を受けてしまいました。これまでのストーリーの一部を削除し、「環境にやさしい買い物」に関するストーリーを追加することで対応しました。

ストーリーから作り直してでしたが、これは、小生が企業の指導で指摘する「客先の要求仕様を明確にしないで設計作業を始めると必ず発生する設計変更」に当たり、仕様の明確化を怠ったためであると反省した次第です。

講演は質問を受ける時間も取ってありましたので、質問に答えるために講演資料には元資料ファイルとリンクを張っておきました。これには岐阜県技術士会のIT研究会で勉強した成果を活用しました。また、作成したパワーポイント資料はIT研究会のメンバーにお見せし、アドバイスもいただきました。

作り上げた講演原稿は南米に滞在中の浅利先生にインターネットメールして見ていただけました。先生からは貴重なアドバイスをいただきました。

・皆さん目を輝かせて聞いてくださいました

私は白川町のことぶき教室の方々と、美濃加茂市の環境フェアに来場された方々にそれぞれ講演しました。G S G Gとしてはこのほかに海津市で中島理事が講演しました。

講演で最も心掛けたことは、目を見て話す、顔の表情を見て話す、眠らさない、ことでした。興味がなさそうだと感じた所は話を省略し、うなずかれる表情のあるところは丁寧に話しするなど、できるだけ抑揚をつけました。微笑みを浮かべて聞いてくださる方もあり、話甲斐がありました。

このあたりは企業に出かけてのプレゼンテーション、社員教育講座などで心がけていること、感じることと同じでした。

講義の途中の写真を張り付けておきますので、様子を想像してください。



・ G S G G を核にして地域に役立てる活動を

これだけの円高になっては製造業の海外移転は避けられず、技術士が技術指導する機会は益々少なくなっています。これに対して、自治体が抱える課題は増えており、技術士が取り組める課題も多く出てきています。さらには提案型の活動も可能になってきています。

企業を定年退職された技術士の方は個人技術士事務所を開設されても、企業から相談を受ける機会は少なく、これまでのいろいろな経験を生かす場がなかなか見つかりません。企業の方向を向いている技術士の力を地域の課題解決にも振り向けことを考えてみてはいかがでしょうか

技術士仲間が活躍できる場として G S G G という格好の受け皿ができています。G S G G のメンバーになり、地域の課題に技術力を生かされることを願います。

以上

[岐阜県技術士会会報の情報連絡先]

代表幹事 田島 暎久 〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F
TEL : 0583-79-0580 FAX : 0583-85-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp